

歴史的まち並みを演出する、一輪挿しづくりワークショップ

対象エリア	鯖江市吉江地区
日時	平成25年9月17日（火） 第1部 13:30～15:30 第2部 19:30～21:00
開催場所	吉江中公民館
対象者（人数）	吉江地区の住民 参加者44名（第1部 24名、第2部 20名）
主催	福井県
協力	一般社団法人 福井県建築士会鯖江支部 立待公民館 吉江中公民館 吉江中区
講師	さばえ米俵研究会 福岡 賢二 氏（鯖江市平井町在住）
ねらい	日常的に設置できる一輪挿しを手作りし、各家庭の玄関等に設置することで、まち並み景観に連続性を持たせ、まち並みづくりに対する恒久的な意識醸成を図る。
プログラム	1. わらについての話を聞く 2. わらを編んで竹筒を取りつけ、一輪挿しを作る 3. 作った一輪挿しを設置する
準備物	【一輪挿し材料】 ・ 稲わら（講師が用意） ・ 麻ひも（講師が用意） ・ 竹筒（事前に所定の大きさにカットした） 【一輪挿し製作に必要なもの】 ・ ブルーシート ・ わら編み機（講師が用意） ・ はさみ



所有者に了承をもらって、竹を切り出して、竹筒を作った。

竹筒の長さは約20cmほどで、節より下の部分にドリルで穴をあけ、紐を通しておけるようにした。



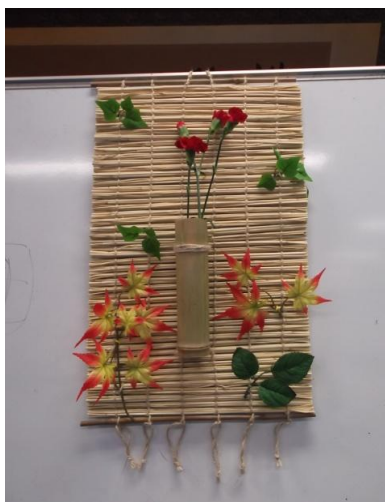
最初に、ワークショップの趣旨を説明した後、講師からわらに関する話をしてもらった。



講師が手作りしたわら編み機を使って、講師指導のもとわらの壁掛けを作った。



未就学児から70歳代までと、幅広い層が参加した。全体的には女性の参加が多かった。



わらで編んだ壁掛けに、竹筒を取り付けて一輪挿しの完成。
写真は講師が製作した一輪挿し。



一輪挿しをさっそく吊るしてもらった。鯖江市吉江地区の歴史的まち並みの風情に似合っている。



玄関だけでなく、通りから見える塀に飾っている人もいた。



伝統的民家だけでなく、一般民家にも飾ってもらい、まち並みに統一感を演出した。



一輪挿しをアレンジして、ポスターを飾っている人もいた。

鯖江市吉江地区 住教育ワークショップ アンケート結果

Q1 今回のワークショップに参加しようと思ったきっかけは何ですか？
(複数選択可)

伝統文化に興味・関心があるから	21	50.0%
まちづくり活動に興味・関心があるから	11	26.2%
景観保全活動に興味・関心があるから	7	16.7%
友人・知人に誘われたから	3	7.1%

Q2 吉江地区の住まいやまち並みについてどう思いますか？
(複数選択可)

歴史的まち並みに風情を感じる	25	59.5%
七曲りの道筋が特徴的で面白い	10	23.8%
良くも悪くも意識をしたことがない	7	16.7%
良い印象はあまり持っていない	0	0.0%
その他	0	0.0%

Q3 今回のワークショップで作った一輪挿しを飾ることで、どのような効果が得られそうですか？
(複数選択可)

まち並み景観を良くしようという気持ちが芽生える	20	46.5%
伝統的民家と一般民家がうまく調和できる	13	30.2%
歴史的まち並み風情を感じることができる	10	23.3%
特に効果が得られない	0	0.0%
その他	0	0.0%

Q4 今回のワークショップをきっかけに、一輪挿しや行灯など吉江地区のまち並みをより美しくする活動を、今後もしていきたいですか？
(1つ選択)

ぜひ活動していきたい	11	29.7%
機会があれば活動していきたい	26	70.3%
特に関心はない	0	0.0%

Q5 景観・まちづくり活動についてのご意見や、本日のワークショップのご感想などをご記入ください。
(自由記述)

- ・ 一輪挿しを飾ることで、この歴史風情あるまち並みを残していきたいと思うようになった。
- ・ 歴史的な民家と一般的な民家が、一輪挿しによって統一感がでて良い。
- ・ 自分たちの住む町の良さを改めて知ることができた。
- ・ 昔はわら細工を作ることが当たり前だった。こういう文化を子や孫に継承していきたい。

